

# 裏磐梯

URABANDA I  
プロフェッショナルプログラム  
PROFESSIONAL  
PROGRAM



## 冬の裏磐梯 SDGsを楽しく体験

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## SDGs とは？



SDGs(エスディーゼーズ)とは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択され、193の加盟国が2016年から15年間で達成を目指す国際社会共通の目標です。17の目標と169のターゲット(達成基準)があり、No one will be left behind、誰一人取り残さない世界の実現をゴールに掲げています。

## PROFESSIONAL PROGRAM Q&A

よくお問い合わせいただくご質問にお答えいたします。

Q はじめてのスキーでも大丈夫ですか？

A 大丈夫です！  
全コースの85%が初・中級コースです。  
ゴンドラやフード付リフトもございます。  
安心してご参加ください。

Q スキーの道具がなくても大丈夫ですか？

A 大丈夫です！  
必要な道具はすべてレンタルいただけます。  
道具以外にもウェア、帽子、ゴーグル、手袋もレンタル可能です。

Q どれくらい寒いですか？

A とても寒いですが！  
-10℃になることもあります。  
しっかりとした防寒対策をご準備ください。

Q 2人でも参加できますか？

A お任せください！  
少人数にも対応しております。

Q 小学校低学年でも理解できる内容ですか？

A はい！  
幼稚園児から参加いただけます。  
プログラム内容を若干変更いたします。

Q コロナ対策してますか？

A できる限りの対策を行っております！  
安心してご参加ください。

### いままでの主な冬季修学旅行実績

2020年度

島原高校  
田村高等学校

2019年度

鹿児島中央高等学校  
茗溪学園中学校高等学校  
常総学院中学校  
波崎第一中学校  
平井中学校  
鹿島中学校  
神埼高等学校  
潮来第二中学校  
志布志高等学校  
銚田南中学校  
銚田北中学校  
常北中学校

2018年度

鹿児島中央高等学校  
銚田南中学校  
鹿島中学校  
御前山中学校  
潮来第二中学校  
志布志高等学校  
聖心ウルスラ学園高等学校  
曾於高校  
常総学院中学校  
笹谷小学校  
人吉高校  
波崎第一中学校  
平井中学校



楽しく体験！

お問い合わせ先

Active Resorts 裏磐梯

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯1093-309  
TEL.0241-32-3111

# まずは、めいっばい楽しいですよ

そして、この楽しみがずっと続くようにするためには  
どうすればいいかを考えること  
エスディージャーズは  
そこからはじめても、いいんじゃない！



## PROFESSIONAL

グランデコスノーリゾート  
サステナブル・スノーインストラクター

金子治仁 Kaneko Haruhito

ここ数年、全国各地のスキー場で雪不足が続いています。原因は地球温暖化による暖冬のせい、このまま雪が減っていくと、2050年頃には、スキー場でスキーができる日数が、現在の3分の1になってしまいます。これは、雪を身近に感じない地域の方にはピンとこないかもしれませんが、雪不足は生態系や農作物、雇用などにも影響を及ぼします。そんな雪から派生する環境問題について、このプログラムを通して、スキーを楽しみながら一緒に考えてみましょう。



## グランデコリゾート

〒969-2701  
福島県耶麻郡北塩原村松原荒砂沢山  
TEL.0241-32-2530  
<https://www.grandeco.com>



参加する前に考えてみよう！ 雪は解けたらどこへ行く？

冬の間に降り積もった山の雪は、春になり暖かくなるとどこに消えてしまうのでしょうか。雪が果たす役割について考えてみましょう。

エスディージャーズって、難しいとか

ガマンすることのように考えている人も沢山いると思うけど、

それはエスディージャーズをちゃんと知らないからで

ここで学べば、本当は楽しいことが

分かりますよ！

## PROGRAM



Active Resorts 裏磐梯のプログラムは「磐梯山とつながる。LOHAS的な生活の実践」をテーマに、最も生活に密着した「フードロス」の課題について考えます。  
宿泊施設では、LOHASコンシェルジュと一緒に、「フードロス」の現状を踏まえ、これから私たちは何をすればいいのか、LOHASやSDGsの「持続可能な」とはどういうことなのか、食と環境の結び付きについて学びます。  
そのほか、フードロス削減に取り組む企業への訪問や、学校や企業のメニュー開発・提供なども行うことができます。



## Active Resorts 裏磐梯

〒969-2701  
福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093-309  
TEL.0241-32-3111  
<https://www.daiwaresort.jp/urabandai>

齋藤雅人 Saito Masato

Active Resorts 裏磐梯  
ロハスコンシェルジュ

## PROFESSIONAL

世界的な問題になっている「フードロス」ですが、日本で解決へ大きく進んでいる地域は多くありません。そして、裏磐梯のある福島県も、ゴミの排出量が全国トップクラスと残念な結果が出ています。だからこそ私たちは、食に関わる「人」や「環境」との結び付きを学び、フードロスの現状を理解することが問題解決につながるのではと考えています。私たちがご提供する「フードロス」を学ぶなら「磐梯山」と言っていただけのようなプログラムです。



参加する前に考えてみよう！ 身の回りにあるLOHASって何だろう？

例えば、自然を親しむ旅をすることはLOHASカテゴリーのひとつ「環境に配慮したライフスタイル」。プロフェッショナルプログラムへの参加もLOHASにつながります。

## URABANDA I | が選ばれる理由！



本物を楽しく学ぶ！

裏磐梯プロフェッショナルプログラムの提供メンバーは、SDGsに関する商品をご提供するのための様々な資格を取得しています。

### 環境管理士

環境管理士は、複雑多様化する環境問題について、環境の改善・保全指導を行う専門的な職業資格です。

経済社会の発展や科学技術の進歩の一方で、環境の汚染や破壊がますます進行しています。

環境管理は、環境の汚染や破壊の現象を除去するだけでなく、日常生活においての環境汚染防止、地域住民の健康保護、生活や経営の質的向上をいかに図っていくかを重要視しています。

環境管理士は、このような課題を克服し、「住みよい生活環境」と「働きやすい経営環境」に導く環境管理のスペシャリストです。

### LOHASコンシェルジュ

LOHAS(ロハス)とは、Lifestyles Of Health And Sustainability(健康で持続可能な、またこれを重視する生活様式)の頭文字をとった略称です。

再生可能エネルギーなどの「持続可能な経済」、天然・有機商品などの「健康的なライフスタイル」、鍼灸や予防治療などの「代替医療」、セミナー参加やヨガなどの「自己啓発」、エコツーリズムなどの「環境に配慮したライフスタイル」の5つのカテゴリーに分かれています。

LOHASコンシェルジュは、人と人、人とモノ、人と社会をつなぎ、生活環境が異なる場合でも、誰もが同じようにLOHASな生活スタイルを持続するためにはどうすればいいのかを提案します。

### プロジェクト・ワイルド・エドゥケーター

プロジェクト・ワイルドは、野生生物をテーマとし、「自然を大切に」を理解するだけでなく、「自然や環境のために行動できる人」を育成するアクティブ・ラーニング型の環境教育プログラムです。

エドゥケーター(指導者)は、学校や野外活動において、答えを教えるのではなく、「なぜ?」という疑問を喚起させ、体験しながら「考える力」を引き出します。参加者は、受動的ではなく能動的に楽しく問題を解決し、グループでの作業やプレゼンテーションを楽しみながら、合意形成、コミュニケーション能力や発表能力が向上します。

### プロジェクト・ラーニング・ツリー・エドゥケーター

プロジェクト・ラーニング・ツリー(PLT)は、樹木や森林から環境問題に関心を持つことができる、アクティブ・ラーニング型の環境教育プログラムです。

エドゥケーター(指導者)は、参加者が身の回りの環境に目を向け、自分たちが及ぼしている影響や、果たすべき責任について考えられるように導きます。環境の利用や保全に関しての知識を持ち、考えたことを行動に移せる自信も身につけられるように手助けします。

参加者は、何を考えるべきかではなく、いかに考えるかについて学びます。

### プロジェクト・ウェット・エドゥケーター

プロジェクト・ウェット(WET(Water Education for Teachers))は、体験型の水教育プログラムです。アクティブ・ラーニング型の学習をすることで、水に対する「気づき」を促し、学びを深め、責任感と社会参加意識を高めます。

エドゥケーター(指導者)は、「水」に関するたくさんのアクティビティを通して、水資源に対する認識、理解、知識、責任感を、グループによるディベート、ロールプレイング、シミュレーション、実験、調査、実演などを用いて指導します。

参加者は、水辺に限らず、水全般について、自ら考え、楽しみながら能動的に学びます。